

令和2年度 公社等経営評価シート
(対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

概 要	名称	公益財団法人宮崎県老人クラブ連合会		所在地	宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター内		
	電話番号	0985-25-7800		ホームページ	http://www.miyarouren.jp		
	設立年月日	昭和50年4月23日	代表者	会長 松浦 博徳	県所管部・課	福祉保健部 長寿介護課	
	総出資額	10,400 千円		県出資額	0 千円	県出資比率	0.0%
	設立目的	この法人は、老人クラブ活動を通じて高齢者の生きがいと健康づくりに資する活動並びに地域を豊かにする社会活動を行い、高齢者福祉の向上と地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。					
	特記事項						

内容		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
改革 工程	①公社等のあり方見直し	適正なあり方についての継続的な見直し	① 市町村リーダー研修会、シルバーボランティアリーダー研修会等を通して、健康、友愛、奉仕活動を促進するためのリーダーを育成し、高齢者福祉の向上と地域社会の発展に寄与した。 ② 地域支援事業を担う単位老人クラブへの指導の拡大を図った。	① 市町村リーダー研修会、シルバーボランティアリーダー研修会等を通して、健康、友愛、奉仕活動を促進するためのリーダーを育成し、高齢者福祉の向上と地域社会の発展に寄与した。 ② 地域支援事業を担う単位老人クラブへの指導の拡大を図った。	
	②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	事業内容の点検・見直し	① 事業運営について検討するため、理事会及び評議員会を定期的に開催するとともに、若手委員会を開催し、若手委員の意見を求めた。 ② 市町村老連と連携し、効果的な事業運営に努めた。	① 事業運営について検討するため、理事会及び評議員会を定期的に開催するとともに、若手委員会を開催し、若手委員の意見を求めた。 ② 市町村老連と連携し、効果的な事業運営に努めた。
		財務改善	自主財源確保の継続的な検討・推進	① 補助金の依存度が高く、自主財源が全財源の半分以下であった。 ② 会員増強に取り組み、会費収入の減少幅が少なくなるように努めた。	① 補助金の依存度が高く、自主財源が全財源の半分以下であった。 ② 会員増強に取り組み、会費収入の減少幅が少なくなるように努めた。
		組織等適正化	・組織適正化に向けた継続的検討 ・県下老人クラブ会員数の拡大	① 九州ブロック及び全国規模の連絡会議及びセミナー等に参加し、職員の能力向上に努めた。 ② 会員増強に向け、市町村老連と連携し、単位老人クラブへの相談体制の充実を図った。	① 九州ブロック及び全国規模の連絡会議及びセミナー等に参加し、職員の能力向上に努めた。 ② 会員増強に向け、市町村老連と連携し、単位老人クラブへの相談体制の充実を図った。
	③県と公社等の関係見直し	人的支援見直し	適切な支援内容の継続的検討	① 職員数は前年度と同数であった。 ② 少人数で多くの事務量を処理する必要があるため、引き続き効率的な業務遂行に努めた。	① 職員数は前年度と同数である。 ② 組織を取り巻く環境の変化から、少人数で多くの事務量を処理する必要があるため、引き続き効率的な業務遂行に努める。
		財政支出見直し	県補助金の見直し	前年度に引き続き、公益事業の財源の多くが県からの補助金であるが、法人の性格上やむを得ない部分であるため、効率的な執行に努めた。	法人の性格上、県補助金の割合が高くならざるを得ないが、適切かつ効率的な執行に努める。
④情報公開推進	適切な情報公開の継続	① 法人HPの更新回数を増やし、事業報告等について周知を図った。 ② 財務状況等については、理事会、評議員会資料として、議事録を含め閲覧できる体制をとった。	① 法人HPの更新回数を増やし、事業報告等について周知を図った。 ② 財務状況等については、理事会、評議員会資料として、議事録を含め閲覧できる体制をとった。	① 法人HPにおいて、事業概要、事業報告等の周知を図る。 ② 財務状況等については、引き続き理事会、評議員会資料として、議事録を含め閲覧できる体制をとる。	

	(人)	令和元年度				令和2年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	13	0	3	10	13	0	4	9
	常勤	1	0	1	0	1	0	1	0
	非常勤	12	0	2	10	12	0	3	9
	職員数	0	0	0	0	1	0	0	1
財政支出等	(千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	県委託料	0	0	0	県借入金残高	0	0	0	0
	県補助金	11,759	10,814	13,022	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	0
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	0
その他の県からの支援等									

	事業名	事業内容	令和元年度	令和2年度	種別
			決算額(千円)	予算額(千円)	
①	宮崎県老人クラブ連合会活動推進員設置事業	公益財団法人宮崎県老人クラブ連合会が実施する老人クラブ等活動推進員設置事業に対して補助することにより、単位老人クラブ及び市町村老人クラブ連合会に対し、適切な指導、助言等を与え、高齢者の社会参加の中心母体である老人クラブ等の活動促進を図る。	8,189	8,189	補助金
②	宮崎県老人クラブ連合会支援事業	公益財団法人宮崎県老人クラブ連合会の実施する各事業に対して補助することにより、高齢者の社会参加の中心母体である老人クラブの活動を促進する。	4,833	4,854	補助金
③					
④					
⑤					

実施事業	①リーダー養成事業 ②健康づくり事業 ③老年開発講師団派遣事業 ④地域文化伝承事業 ⑤大会の開催 ⑥作品展示会事業 ⑦「老人の日・老人週間」「全国一斉社会奉仕の日」の活動
------	---

活動指標	指標名	算式(単位)	令和元年度			令和2年度	令和3年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	宮崎県さんさんクラブ大会参加人数	(人)	1,000	800	80.0%	900	900
②	さんさんクラブ宮崎作品展示会出品数	(点)	450	489	108.7%	490	490
③	シルバーボランティアリーダー研修会受講者数	(人)	750	675	90.0%	700	700
指標の設定に関する留意事項							

	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	18,790	17,452	19,218	資産	112,975	111,047
経常費用	20,090	18,927	20,029	流動資産	4,017	2,470
評価損益等	-720	-381	-1,195	固定資産	108,958	108,577
当期経常増減額	-2,020	-1,856	-2,005	負債	303	302
経常外収益	0	0	0	流動負債	303	302
経常外費用	0	0	0	固定負債	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	正味財産	112,672	110,745
税引前当期一般正味財産増減額	-2,020	-1,856	-2,005	指定正味財産	0	0
法人税・住民税及び事業税	71	71	71	(うち基本財産への充当額)	0	0
当期一般正味財産増減額	-2,091	-1,927	-2,076	(うち特定資産への充当額)	0	0
一般正味財産期首残高	114,763	112,672	110,745	一般正味財産	112,672	110,745
一般正味財産期末残高	112,672	110,745	108,669	(うち基本財産への充当額)	10,333	10,400
当期指定正味財産増減額	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	98,624	98,178
指定正味財産期首残高	0	0	0			
指定正味財産期末残高	0	0	0			
正味財産期末残高	112,672	110,745	108,669			

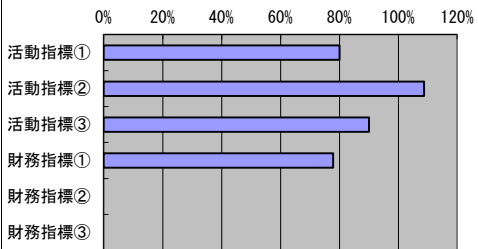
※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式(単位)	令和元年度			令和2年度	令和3年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	自己収入比率	(基本財産運用収入+特定資産運用収入+自己収入+自主事業収入) / 令和元年度 実績値の算式	33.0	25.7	77.9%	33.0	33.0
②		(40千円+725千円+3,592千円+784千円) / 20,030千円 × 100					
③		実績値の算式					

指標の設定に関する留意事項

直近の県監査の状況

総合評価	公社等自己評価	<p>改革工程に従い、概ね計画通りに活動したが、一部の活動指標で目標値を達成できなかった。会員加入促進に市町村老連と連携し取り組んだが、県全体では、全国と同様、老人クラブ数、老人クラブ会員数とも減少し、減少傾向に歯止めをかけることができなかった。</p>				県所管部課二次評価	<p>改革工程に従い、概ね計画通りに進んでいるが、前年度と同様に単位老人クラブのクラブ数及び会員数が減少したため、自己収益(各クラブからの会費等)が減少し、自己収入比率が低い状況である。今後は、クラブ数及び会員数の減少を食い止めるため、若手会員の加入促進やクラブ未結成地区における新規クラブ立ち上げ支援にさらに取り組む必要がある。</p>			
	評価 (A:良好, B:ほぼ良好, C:やや課題あり, D:課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価 (A:良好, B:ほぼ良好, C:やや課題あり, D:課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
	目標達成度	C	B	C	C	B	B	C	C	



公社等改革推進委員会三次評価

活動内容については、高齢者の生きがいと健康づくりのための活動を計画に基づき実施しており、一定の評価ができる。しかし、会員の高齢化や老人クラブ会員数の減少等により、一部の指標で目標値を下回っている。財務内容については、自己収入比率が目標値を下回っており、経常赤字も続いていることから、会費収入等の自己収入の確保に努めることが求められる。引き続き、自己収入の確保等により経営改善に取り組むとともに、関係団体との連携を強化しながら、会員確保や新規クラブの立ち上げ支援等を効果的・効果的に実施していくことが求められる。